

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	12	学 校 名	静岡県立袋井特別支援学校	校 長 名	鈴木 滋 夫
------	----	-------	--------------	-------	--------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

自ら光る子を育てる ～自分のよさを磨いて豊かに生きる～

- 一人一人には それぞれかけがえのない「よさ＝光」がある。
- ① 今、持っている「よさ」(光)を伸ばす、深める、広げる…
 - ② そうすることで、新たな「よさ」(光)となり、自分のものとなる。
 - ③ その自分自身に身に付いた「よさ」(光)を磨いて、自分らしく豊かに生きる。
- その姿が「自ら光る子」

(2) 目指す児童生徒像

- 【小学部】 自分から進んで活動する子
 【中学部】 「任せて」と自信を持って活動する子
 【高等部】 自らを磨き「自己実現」を図る子
 【肢体教育】 自分らしく「人」「もの」「社会」に関わり豊かに生きる子
 【訪問教育】 自分らしく豊かな生活を送る子

(3) 目標具現化の柱

- 【安全・安心】 命を守り、人権を尊重した安全・安心な学校
 【子ども主体の授業】 児童生徒が主体的に学び、一人一人の良さを引き出す学校
 【連携】 家庭や地域、関係機関と協働し、児童生徒の自立と社会参加を目指す学校

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
安全・安心	未然防止の行動力と有事への対応力の向上	・各マニュアルの活用、ヒヤリハットの情報共有	・ヒヤリハットを自分事と捉え、指導に生かした教員 100% ・有事の際の自分の役割や行動を具体的想定できる職員 100% ・校内事故0を目指し、具体的な予防策に取り組んだ教員 100%	危機管理課 生徒指導課 保健給食課 総務課 各学部
		・健康及び安全に配慮した学習環境の設定		
		・安全な医療的ケアの実施における教員、看護師及び医療機関等との効果的な連携	・平時、緊急時の自分の役割を理解し、協働して安全な医療的ケアを実施できたとする医ケア担当職員 100%	保健給食課
		・事務部と各学部、各分掌の密な連携	・各学部、各分掌と連携し、柔軟で効果的な予算執行ができたとする事務職員 100%	事務部
	自他を尊重し合う意識の醸成	・教職員間、児童生徒間及び児童生徒への適切な接し方について確認し合う機会の設定	・自他の人権意識を大切にする態度や児童生徒の自己肯定感を高める指導ができたとする教員 100%	生徒指導課 各学部

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
子ども主体の授業	深い学びを実現するための授業実践	・校内(班別)研修の推進	・学習評価と授業評価をもとに授業改善に取り組んだ教員 100%	研修課
		・児童生徒の実態や指導の系統性等の根拠に基づいた授業、支援の実践	・自立活動「流れ図」の考え方を理解した教員 100%	自立活動課
	・ICT 機器（タブレット端末等）の効果的な活用	・授業において、ICT 機器の活用を試みた教員 100%	図書情報課 自立活動課	
	12 年間を積み上げる授業実践	・児童生徒のキャリア発達に基づく指導の実践	・キャリア発達を意識して指導することができた教員 100%	各学部 教務課 進路指導課 生徒指導課 危機管理課 体育課 保健給食課
	互いに高め合える教職員集団の構築	・キャリアステージ研修の推進（スタートアップ研修、袋特版 O J T の推進等）	・指導について気軽に相談し合えることができた教員 100%	学習支援課
連携	保護者、関係機関、地域との連携・協働体制の充実	・目的を明確にした交流及び共同学習等の実施（学校間交流、交流籍交流）	・交流及び共同学習等に参加した児童生徒 100%（小 4 以上）	支援連携課 各学部
		・学びの場としての地域資源を生かした教育活動の実践	・地域資源を活用した授業等を年 1 回以上実践した学年等 100%	
		・本校の教育活動の発信	・学年等による月に 1 回以上のホームページでの教育活動等の発信	図書情報課 学習支援課
		・保護者や関係機関と連携した支援体制の充実	・保護者及び必要な関連機関との連携を図った教員 100%	各学部 支援連携課 進路指導課 体育科
	・袋井市連携に基づく特別支援教育のセンター的機能の充実	・特別支援教育について、ニーズに応じた助言や説明をすることができた担当教員 100%	支援連携課	

＜教育活動を支える基本的な考え方＞

○自らの強みを発揮し、仲間と協働しながら、主体的に学校経営に参画する教職員

＊業務改善：教育活動や業務の目的を再確認し、精選、効率化を図る